【2019年9月26日発行】

■ 厚労省人事労務マガジン／特集第164号 ■

目次

【トピックス】

1. すべての都道府県で、10月から「最低賃金」が改定されます
2. 新たに起業された皆さま、働く人のための環境は整っていますか？
～労働に関するセミナーや専門家が個別訪問・支援を行います（無料）～
3. 「働き方改革関連法等読み解きセミナー」の参加者募集中！（参加無料）
～経営指導員、中小企業診断士、企業の人事労務担当者などを対象に、全国19都市で開催中です～
4. 働き方改革を解説する動画配信をスタート！
～「働き方改革特設サイト」に第一弾を公開。続編も順次配信します～
5. 「医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー」開催のご案内（参加無料）～進めていますか？医療現場の働き方改革～
6. 「労働法の教え方」セミナーを全国10都市で開催！参加者募集（参加無料）
～生徒・学生・若い社会人に労働法の基礎知識を教える方が対象です～
7. 「高年齢者雇用開発フォーラム」を10月3日に開催します
～高年齢者雇用開発コンテスト表彰式も同時開催～
8. 「生涯現役社会の実現に向けたシンポジウム」を10月から12月にかけて全国6都市で開催します
～今年度のテーマは「人生100年時代 高齢社員戦力化へのアプローチ」～
9. 「65歳超雇用推進事例サイト」がリニューアルオープン！
10. 「自営型テレワーク活用セミナー」を10月に愛知で開催
～「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」の説明をします～
11. 「テレワークセミナー」の参加者募集中！（参加無料）
～10月7日に大阪で開催します～
12. 「テレワークに関する体験型イベント」の参加者募集中！（参加無料）
～大阪(11/7)・新潟(11/15)・福岡(11/22)で開催します～
13. 「働き方・休み方改革シンポジウム」を10月から全国8都市で開催します

【トピック1】 すべての都道府県で、10月から「最低賃金」が改定されます

都道府県ごとに決定される地域別最低賃金額が10月1日から順次改定されます。最低賃金は、年齢やパート、学生のアルバイトなどといった雇用形態やその呼称にかかわらず、すべての労働者に適用されます。皆さま、最低賃金額や発効日の確認をお願いします。

また、厚生労働省では、最低賃金の引き上げに向けた中小企業事業主への生産性向上支援の一環として、「業務改善助成金」の支給を行っています。積極的な活用をご検討ください。

【各都道府県の改定額と発効年月日はこちら】

地域別最低賃金の全国一覧

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki_jun/minimumichiran/

【業務改善助成金の案内はこちら】

中小企業・小規模事業者の生産性向上のための取組を支援

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki_jun/zygyonushi/shienjigyuu/03.html

【最低賃金に関する特設サイトはこちら】

必ずチェック最低賃金

<https://pc.saiteichingin.info/>

【お問い合わせ先】

最低賃金に関するお問い合わせは、各都道府県労働局労働基準部賃金課室または最寄りの労働基準監督署へお願いします。

都道府県労働局（労働基準監督署、公共職業安定所）所在地一覧

http://www.mhlw.go.jp/kousei_roudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/

【トピック2】 新たに起業された皆さま、働く人のための環境は整っていますか？～労働に関するセミナーや専門家が個別訪問・支援を行います（無料）～

厚生労働省では、5年以内に起業、分社、異業種への進出、初めて人を雇用する

などした事業主の方を対象に、労働関係法令や労務管理の実務について学んでいただくセミナーや個別訪問・支援を行っています。【事前申込制・無料】

【セミナー内容】

セミナーでは、労務管理や安全衛生管理などの基本的なルールに加え、今年4月から始まった働き方改革に関する新たなルールについても分かりやすく説明します。参加者には、「やさしく分かりやすく」編集したテキストなどを無料で配布し、社会保険労務士などの労働法の専門家がその内容について分かりやすく丁寧に解説します。セミナーは、10月に全国10都市で開催します。

【個別訪問・支援】

希望される事業主の方を対象に、労働法の専門家である社会保険労務士などが個別に事業場を訪問し、皆さまの相談を伺いながら、それぞれの事情に応じた適切なアドバイスをを行い、適正な就業環境を整備するお手伝いを無料で行います。

労働トラブルを防ぐためには、労働関係法令の内容を理解し、ルールに沿った労務管理を行うことが大切です。セミナーと個別訪問・支援を活用し、トラブルを未然に防ぎ、働く人が集まり、定着するような職場環境を整えましょう！

最新の情報は、以下のウェブサイトに掲載しています。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

【お申込など詳細はこちら】

委託先：ランゲート株式会社

<http://www.langate.co.jp/shinki-kigyou/index.html>

住所 京都市中京区泉正寺町 328 西川ビル 4 F

電話 075 (741) 7862 ※電話受付時間 9:00~18:00 (月~金)

【トピック3】「働き方改革関連法等読み解きセミナー」の参加者募集中！（参加無料）～経営指導員、中小企業診断士、企業の人事労務担当者などを対象に、全国19都市で開催中です～

厚生労働省では、中小企業を支援している経営指導員、中小企業診断士、税理士、働き方改革に取り組もうと考えている経営者、企業の人事労務担当者などを対象とした「働き方改革関連法等読み解きセミナー」を、来年1月にかけて全国19都市

で開催しています。

4月から働き方改革関連法が順次施行され、時間外労働の上限規制、年次有給休暇の時季指定、同一労働同一賃金への対応など、各企業で働き方改革に取り組む必要があります。

そこで、主に中小企業の経営を支援されている専門家の方々に、働き方改革関連法の内容を分かりやすく解説するほか、働き方改革に取り組むために必要な情報を提供します。皆さまの参加をお待ちしています。

【令和元年度の開催予定】

宮城	10月29日(火)	日立システムズホール仙台シアターホール
群馬	11月8日(金)	前橋テルサ
埼玉	12月10日(火)	JA共済埼玉ビル
千葉	12月20日(金)	千葉市文化センター
東京①	10月7日(月)	亀戸文化センター
東京②	10月8日(火)	亀戸文化センター(満席。※キャンセル待ちのみ受け ます)
新潟	9月30日(月)	新潟テルサ(わずか)
富山	11月22日(金)	富山県教育文化会館
愛知①	12月5日(木)	ウインクあいち
愛知②	12月6日(金)	ウインクあいち
京都	12月2日(月)	京都テルサ
大阪①	12月12日(木)	エル・おおさか
大阪②	12月13日(金)	エル・おおさか(わずか)
兵庫	10月16日(水)	神戸市産業振興センター
広島	11月11日(月)	島国際会議場
香川	11月18日(月)	レクザムホール
福岡①	10月21日(月)	福岡県消防会館
福岡②	10月28日(月)	福岡県消防会館(わずか)
熊本	11月26日(火)	くまもと県民交流館パレア

(令和2年)

福島	1月24日(金)	福島県青少年会館
東京③	2月3日(月)	中野サンプラザ
東京④	2月4日(火)	中野サンプラザ
静岡	1月17日(金)	CSA貸会議室レイアップ御幸町ビル

※セミナー時間は2時間から2時間半を予定しています。

【申込方法など詳細はこちら】

公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会（委託先）

電話 03 (5283) 1030

<https://www.zenkiren.com/jutaku/senmonka/index.html>

【トピック4】 「働き方改革関連法」を解説する動画配信をスタート！
～「働き方改革特設サイト」に第一弾を公開。続編も順次配信します～

厚生労働省は、働き方改革関連法について解説する動画の第一弾「進めよう！働き方改革 Part1 意義」を「働き方改革特設サイト」上に公開しました。

■働き方改革特設サイト

<https://www.mhlw.go.jp/hatarakikata/>

この動画は、働き方改革関連法について、事業主や労働者の皆さまに内容をしっかりと理解していただき、働き方改革の機運をさらに高めることを目的としています。「進めよう！働き方改革 Part1 意義」は、働き方改革の必要性や意義について、分かりやすく解説しています。厚生労働大臣をはじめ、各団体から皆さまへのメッセージも収録しています。

今後は、時間外労働の上限規制や、同一労働同一賃金などについて、分かりやすい解説動画を順次配信していきますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

なお、10月4日(金)に福岡で「働き方改革」特別フォーラムを開催します。このフォーラムでは、実際に働き方改革に取り組まれた企業の担当者にご登壇いただき、効果的な改善事例や<成功の秘訣>などを紹介します。企業の人事労務担当者やご関心のある方は、ぜひご参加ください。

■特別フォーラムの応募フォーム

<https://fs224.formasp.jp/p252/form6/>

【トピック5】 「医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー」開

催のご案内（参加無料）～進めていますか？医療現場の働き方改革～

2019年4月から働き方改革関連法が順次施行され、医療現場でも例外なく、さまざまな取り組みが求められています。

厚生労働省では、各医療機関における勤務環境改善マネジメントシステムの導入による医療従事者の勤務環境改善の取り組みを支援しています。このセミナーでは、医療機関で勤務環境改善に向けた取り組みを推進していくため、先行事例や勤務環境改善の最新の動向についてご紹介します。【参加無料】

なお、このセミナーは全国9都市で開催しています。医療期間の経営者、管理者、職員の皆さま、この機会にぜひご参加ください。

【スケジュール・申込状況など詳細はこちら】

医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進等事業

<https://www.jmar-llg.jp/ikisapo2019.html>

【トピック6】 「労働法の教え方」セミナーを全国10都市で開催！参加者募集（参加無料）～生徒・学生・若い社会人に労働法の基礎知識を教える方が対象です～

生徒や学生、若い社会人などがアルバイトや就職、職業生活などで何らかのトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐためにも、さまざまな機会をとらえて、労働関係法令や制度に関する十分な知識を習得しておくことは重要です。

厚生労働省では、教職員や自治体の労働担当の方、学生や若い社会人に労働法について教える可能性のある方を対象に、「労働法の教え方」セミナーを開催します。

【参加無料】

【申し込みなど詳細はこちら】

委託運営：株式会社東京リーガルマインド

「労働法の教え方」セミナー

http://partner.lec-jp.com/ti/teach_roudou/

【トピック7】 「高年齢者雇用開発フォーラム」を10月3日に開催します

～高年齢者雇用開発コンテスト表彰式も同時開催～

厚生労働省は、「高齢・障害・求職者雇用支援機構」と共催で、「高年齢者雇用開発フォーラム」を東京都千代田区で開催します。事例発表は、高年齢者雇用開発コンテストで受賞された以下に掲載の企業です。【事前申込制・参加無料】

高年齢者がいきいき働ける職場づくりに取り組む企業の事例発表、高年齢者の就業に向けた記念講演を聞いてみませんか？「年齢にかかわらずいきいきと働ける社会」を築いていくために、企業や個人がどのように取り組んでいけばよいのかを一緒に考えたい人事労務担当者をはじめ、ご関心のある方はぜひご参加ください。

【開催日程】

日時 : 10月3日(木) 11:00 ~ 16:10
会場 : イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル)
定員 : 400人(先着順)

【内容・詳細はこちら】

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ
<http://www.jeed.or.jp/elderly/activity/forum.html>

【お申し込みはこちら】

専用申し込みフォーム
<https://krs.bz/jeed/m/forum-191003>

■事例発表企業 (高年齢者雇用開発コンテスト 厚生労働大臣表彰企業)

☆最優秀賞 医療法人社団 五色会 (病院 [医療業]) (香川県坂出市)

☆優秀賞 株式会社 建設相互測地社 (補償コンサルタント業(用地補償、測量調査) [専門サービス業(他に分類されないもの)]) (福島県郡山市)

☆優秀賞 松川電気 株式会社 (電気・通信設備工事業 [設備工事業]) (静岡県浜松市)

【トピック8】「生涯現役社会の実現に向けたシンポジウム」を10月から12月にかけて全国6都市で開催します ~今年度のテーマは「人生100年時代 高齢社員

戦力化へのアプローチ」～

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構では、高齢社員を戦力化するための工夫と継続雇用制度・定年延長をテーマに、10月から12月にかけて全国6都市(北海道・東京・富山・大阪・香川・福岡)で、「生涯現役社会の実現に向けたシンポジウム」を開催します。【事前申込制・参加無料】

「成長戦略実行計画」で、70歳までの就業機会の確保に向けた検討を進めることが、6月に閣議決定されました。このシンポジウムでは、学識経験者による講演や先進的な企業の人事責任者などによる好事例の発表、学識経験者をコーディネーターとしたパネルディスカッションなどを行います。また、具体的な定年延長などの進め方、高齢者の活躍の促進(戦力化)について、来場者の皆さまとともに考えます。

【開催日時・場所】

北海道	10月18日(金)	ホテルモントレ札幌	2階「ビクトリアルーム」
富山県	10月25日(金)	ANAクラウンプラザホテル富山	大宴会場 鳳(I、II)
香川県	10月29日(火)	サンポートホール高松	第2小ホール
東京都	11月13日(水)	イイノホール	
福岡県	11月28日(木)	JR九州ホール	
大阪府	12月3日(火)	ドーンセンター	

※開催時間は、いずれも13:00～16:00前後を予定しています。

【申し込みなど詳細はこちら】

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部のホームページ
<http://www.jeed.or.jp/location/shibu/hokkaido/s2019.html>

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構香川支部ホームページ
<http://www.jeed.or.jp/location/shibu/kagawa/jeedkagawasymposium.html>

※上記にリンクのない都道府県については、機構のホームページにて、順次詳細をお知らせします。

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ

<http://www.jeed.or.jp/elderly/activity/symposium.html>

【トピック 9】 「65 歳超雇用推進事例サイト」がリニューアルオープン！

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「65 歳超雇用推進事例サイト」をリニューアルオープンしました。このサイトでは、生涯現役でいきいきと働ける職場づくりの工夫や改善事例が検索できます。現在、70 社、78 事例を公開中です。近日、最新事例を追加予定です。

また、同機構が開催するイベントの案内や研究資料といった「高齢者雇用」に関連した情報も“まとめて”検索できます。

65 歳超雇用推進事例サイト

<https://www.elder.jeed.or.jp/>

【お問い合わせ先】

（独） 高齢・障害・求職者雇用支援機構 雇用推進・研究部研究開発課
電話 043 (297) 9528

【トピック 10】 「自営型テレワーク活用セミナー」を 10 月に愛知で開催 ～「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」の説明を します～

自営型テレワーク活用セミナー（※）は、「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」を理解することで、自営型テレワークを活用する発注者や仲介事業者と自営型テレワーカーが、トラブルを未然に防止し、円滑に業務を進められることを目的としています。

（※）会社に雇用されることなく、請負契約などにより、主に自宅などでテレワークを行う方やそのような方へ業務委託をしたいと考えている事業者の方などに向けた説明会です。

■自営型テレワーク活用セミナー in 愛知

【開催日時・場所】

日時：10月4日（金） 10:00～12:00 （開場9:30）
会場：ウインクあいち （名古屋市中村区名駅4-4-38）

【申込方法など詳細はこちら】

自営型テレワークに関する総合支援サイト「HOME WORKERS WEB」
<https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/20191004.html>

【トピック11】 「テレワークセミナー」の参加者募集中！（参加無料）
～10月7日に大阪で開催します～

テレワークは、パソコンやインターネットといった情報通信技術（ICT）を活用して、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方です。

テレワークを活用すると、さまざまな生活スタイルに応じた働き方が可能となり、企業の生産性の向上にもつながります。しかし、テレワークには、労務管理やセキュリティの確保が難しいといった課題もあります。このため、厚生労働省では、労務管理上の留意点、テレワーク導入事例の紹介、導入企業の体験談など、テレワークに必要な情報に関するセミナーを、10月7日（月）に大阪で開催します。【事前申込制・参加無料】

セミナー終了後には、個別ブースを設けて、労務管理面や情報通信技術面で企業が抱える個別具体的な課題などについて、セミナー講師が直接アドバイスする「個別相談会」を実施します。

テレワークの導入を検討している、または導入後に課題を抱えている事業経営者、人事・労務管理などのご担当者は、ぜひご参加ください。

【セミナー内容】

- ・ テレワーク導入事例の紹介
- ・ テレワーク導入企業の体験談紹介
- ・ テレワーク実施時の労務管理上の留意点
- ・ 情報通信技術面における留意点

【開催日程】

日時：10月7日（月） 13:00～15:45 （開場12:30）
会場：エル・おおさか 本館6階大会議室

(大阪府中央区北浜東 3-14 大阪府立労働センター)

定員：200 人

【申込方法など詳細はこちら】

厚生労働大臣表彰 輝くテレワーク賞 (テレワークセミナーのご案内)

<https://kagayakutelework.jp/seminar/>

【トピック 12】 「テレワークに関する体験型イベント」の参加者募集中！

(参加無料) ~大阪(11/7)・新潟(11/15)・福岡(11/22)で

開催します～

「トピック 11」でお伝えしたように、テレワークを活用すると、さまざまな生活スタイルに応じた働き方が可能となり、企業の生産性の向上にもつながりますが、労務管理やセキュリティの確保の課題もあります。

このため、厚生労働省では、テレワークの利用に興味のある方を対象に、労務管理上の留意点および事例紹介、1人1台の情報端末を使用したテレワーク体験など、情報通信機器を利用したテレワークに関する「体験型イベント」を、11月7日(木)に大阪、11月15日(金)に新潟、11月22日(金)に福岡で開催します。【事前申込制・参加無料】

【イベント内容】

- ・テレワーク実施時の労務管理上の留意点と事例紹介
- ・情報通信機器利用によるテレワーク体験
- ・テレワーカーとの意見交換

【開催日時・場所】

■大阪

日時：11月7日(木)

午前の部 10:00～12:30 (開場 9:30)

午後の部 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場：富士ゼロックス Document CORE Osaka

(〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 3-5-7)

■新潟

日時：11月15日(金)

午前の部 10:00～12:30 (開場 9:30)
午後の部 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場：朱鷺メッセ

(〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号)

■福岡

日時：11月22日(金)

午前の部 10:00～12:30 (開場 9:30)
午後の部 14:30～17:00 (開場 14:00)

会場：富士ゼロックス DOCUMENT HUB Square Fukuoka

(〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-6-16)

※各会場とも定員は30人

【体験型イベントの申込方法など詳細はこちら】

テレワークに関する体験型イベント

<http://teleworkevent.jp/>

【トピック13】「働き方・休み方改革シンポジウム」を10月から全国8都市で開催します(参加無料)

4月から働き方改革関連法が順次施行され、時間外労働の上限規制(中小企業を除く)や年次有給休暇の年5日の確実な取得が開始されています。また、中小企業には来年4月から時間外労働の上限規制が適用されます。

このシンポジウムでは、学識経験者による基調講演、企業の取組事例の紹介、登壇者によるパネルディスカッションを通じて、働き方・休み方改革のポイントや実践的な取組内容をご紹介します。企業の人事労務担当者や働き方・休み方改革に関心をお持ちの方など、皆さまのご参加をお待ちしています。

【開催日時・場所】

名古屋	10月4日(金)	13:30～16:30	東建ホール丸の内
福岡	10月15日(火)	13:30～16:30	アクロス福岡 大会議室
大阪	10月16日(水)	13:30～16:30	梅田スカイビル ステラホール
東京	10月25日(金)	13:30～16:30	有楽町朝日ホール

広島 11月5日(火) 13:30~16:30 ワークピア広島
(一般社団法人広島労働会館) 芙蓉
札幌 11月26日(火) 13:30~16:30 札幌国際ビル 国際ホール
仙台 12月10日(火) 13:30~16:30 TKP ガーデンシティ
PREMIUM 仙台東口 ホール10A
高松 12月13日(金) 13:30~16:30 高松センタービル TCB ホール(大ホール)

【働き方・休み方改革シンポジウム概要(リーフレット)】

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/seminar/pdf/symposium/2019/00.pdf>

【申込方法など詳細はこちら】

働き方・休み方改善ポータルサイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/seminar/>

★配信停止の手続き https://mhlw.lisaplusk.jp/stop_form.php
★バックナンバー <https://merumaga.mhlw.go.jp/backnumber/index.html>
★登録に関するお問い合わせ <https://mhlw.lisaplusk.jp/contact.php>
★メルマガの内容に関するお問い合わせ(厚労省ホームページ「国民の皆様の声」
へリンク) <https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/getmail>
★編集: 厚生労働省

- 当メールマガジンは外部の電子メール配信サービスを利用して行っています。
- 登録していないにも関わらず本メールが配信された場合は、他の人が間違えて登録した可能性がありますので、配信停止の手続きをお願いします。
- 当メールマガジンの送信元アドレスは送信専用となっています。
- 携帯メールなどには対応しておりません。
- 可能であれば等幅フォントにてご覧ください。
- 当メールマガジンの内容の全部または一部については、私的使用または引用など著作権法上認められた行為として、出所を明示することにより、引用、転載、複製を行うことができます。